



NIPPON BEARING

9月27日付 日本経済新聞広告 解答と解説

【問題】 持続可能な開発目標（SDGs）ゴールは、全部でいくつ？

①8 ②17 ③169

【答え】②17

【解説】

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）は、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。2015年9月の国連サミットで「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載されて、加盟国の全会一致で採択されました。17のゴールと169のターゲットから構成され、日本も積極的に取り組んでいます。

なおSDGsは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs：Millennium Development Goals）の後継として定められたもので、MDGsでは8つのゴールと21のターゲットを設定していました。

17のゴールは、①貧困や飢餓、教育など社会面の開発アジェンダ、②エネルギーや資源の有効活用、働き方の改善、不平等の解消など、すべての国が持続可能な経済成長を目指す経済アジェンダ、③地球環境や気候変動など、地球規模で取り組むべき環境アジェンダなどの分野の課題を示しています。SDGsはこれら17の課題を解決し、持続可能なよりよい未来を築くことを目標としています。

しかし、これらの目標達成は、各国政府による取り組みだけでは困難です。企業や地方自治体、地域社会、そして1人ひとりに至るまで、すべての国のすべての人の行動が求められています。

2020年、新型コロナウイルス感染症のパンデミックが明らかにしたように、グローバル化が進んだ現代では、国境を越えた課題には国際社会が団結して取り組まなければなりません。

SDGs達成の2030年まで、10年を切りました。

省エネ、食品ロスの削減、リサイクルなど、日々の暮らしの中で私たちができることを心がけていきましょう。